

平成 27 年度 学校評価シート

江津市立跡市小学校

	中期目標	短期目標	達成のための方策	評価指標	自己評価		学校関係者評価		改善策
					達成状況	評価	考察	評価	
確かな学力の育成	思考力・表現力の育成	国語科を中心とした授業改善や、言語活動の工夫による読解力の向上	国語科の授業における「読解力」指導と「学び合いの授業」の工夫・改善を図る。(一人学級への対応)→3・4年複式という視点と外部との連携・協力	児童の読み取る力や伝え合う力の伸びが見られるようになっている。	読解力の向上のために音読や暗唱に力を入れて取り組んだり、授業の中で、問題を読みとったりする活動に取り組んできた。また、自分の考えや思いを書いたり、伝えたりする場も多くなった。全担任が研究授業を行い、授業改善にも取り組んだ。さらに、行事等の後に、作文や日記、ブログなどに書かせたり、地域の方との交流の際には、児童一人一人が感想や感謝の言葉を述べるように取り組んだ。考えを書いたり伝えたりする力は高い評価を得たが、読解力や話し合ったりする力の評価が低い。ロボット活動に全校児童を対象に取り組み、大会等でも成果を上げつつある。また、キャリア教育としてのものも作り体験でも、成果を上げた。	B	○児童の演奏や歌声の力に学習の成果を感じる。 ○学習発表会・キャリア教育・ロボット大会などの発表を聞く ○思考力表現力も豊かで、素晴らし発表をしている。 ○跡市の大きな魅力である自然と触れ合う児童の姿はイキイキとしており、地域の方との触れ合いは大切と感じる。天候不順が多い昨今において川活動等、定期的に慎重にならざるおえない面はあると思うが、自然に体験する活動は継続して頂きたいと思う。こうしたことが児童自身の考えを述べることや表現することに繋がっており、個性豊かな育成がなされていると思う。 ○ロボット活動を見ていて、低学年から高学年がPCを使用しプログラムしている姿には驚いた。チームワークや試合の状況に応じてプログラムを変更することは、今後において柔軟性を養う面でも非常に良い活動だと感じた。	A	○地域として継続可能な体験活動への参加や、ロボット学習の継続など検討していきたい。
		自然科学体験活動の計画的推進	川の活動やロボット活動を計画的に推進し、科学的な思考力・表現力を育成する。(キャリア教育)	児童が科学的な思考や表現ができるようになっている。					
		体験的学習と言語活動の統合	体験的学習と言語活動の統合を図り、思考力・表現力を育てる指導と場の工夫をする。	児童が体験を振り返り、自然に言語化(書く、話す)できるようになっている。					
	学習習慣の定着	学び合いの授業の工夫・改善	話す・聞く力を高め、各教科等における学び合いの授業の工夫・改善を図る。(ねらいと見通しを持たせた授業展開、一人学級への対応)→小中連携の視点(話す・聞く)	話す・聞く力が高まり、学び合いの学習に生かされている。	各学級ではもちろん、全校活動においても、話したり聞いたりする力を伸ばすようにしてきた。授業のはじめにその時間のねらいを示したり最後にその時間に学んだことの振り返りをするを繰り返し、学力育成を図ってきた。こうした中で、児童の主体的な行動も見られるようになってきた。 家庭学習には課題が見られた。学級によっては、家庭学習が定着しないため休憩時間や放課後に補充学習を行うなど、苦慮していた。今後、家庭学習にしっかりと取り組めるように児童の意識を改革していく必要がある。	B	○跡市小の小規模校という利点から、個々の児童をしっかり見て指導して頂いている印象を受けている。保護者も学校での教育には何ら心配していない。一部では家庭学習等、学校を離れると主体的な学習が弱くなる傾向もあるようだが、放課後クラブや家庭内のご努力もあり、改善されつつある。 ○学校での授業は集中した学習を行っているが、放課後クラブでの学習についてはバラつきがある。 ○それぞれが自分の言葉で自分の考えを述べようとする力が見える。	B	○家庭学習など、自ら学習に取り組む意欲的な姿勢を身に付けていけるように、統合校に行くまでも声掛けや、家庭学習の工夫に取り組んでいく。また、保護者とも閉校後の過ごし方など相談する機会を持ちたい。
		家庭学習の指導と内容の工夫	家庭での学習(音読、日記、ドリル学習、読書や読書ノート等)を発達段階に応じて継続的に指導するとともに、予習や復習等、授業と連動した宿題の出し方を工夫する。	授業と連動した宿題を出すことにより、計画的・継続的に家庭学習に取り組むようになっている。					
		主体性を育てる指導の推進	学校行事や係活動等、様々な教育活動においてめあてを持って努力し、主体的な活動を促す指導を推進する。	様々な場面で、児童が主体的に行動する姿が見られるようになっている。					
	読書習慣の定着	図書館環境の充実と読書活動活性化のための工夫・改善	図書館支援員による図書館環境の整備を計画的に推進するとともに、朝の読書活動の継続(読書、読み聞かせ、音読集会)や日常の読書活動活性化のための工夫・改善を図る。	図書館環境が向上し、朝の読書活動や日常の読書活動を通じて、児童が本をたくさん読むようになっている。	支援員の熱心な取組等により、図書館の環境はよりよく改善され、児童も朝読書や休憩時間など気持ちよく利用している。朝の読書活動や読書ノートへの取組を通して、本が好きだという児童も多い。 教科等での調べ学習などで、図書館を利用することが多くなり、児童も意欲的に活動している。ただ、少人数のため、昼休み等読書したくても、全員が講堂に集まると、誘いを断れないこともあった。	B	○図書館内は非常に整備されていて、児童達の興味をひくようなレイアウトが施してあるように感じる。また、様々な種類の書籍も用意されており、大変良いと思う。支援員の協力もあって児童達は読書が大好きな様子が窺える。 ○読書への意欲が育っていく様子を感じることができた。 ○朝読書の習慣づけがされていることが、学校放送でわかる。	A	○読書ノートの活用などにより、統合校に行っても生きる読書習慣の継続を図ってきたい。
図書館利用方の学習や調べ学習の充実		図書館の利用方法の学習や教科等の調べ学習などの指導を充実させる。	児童が教科等で図書館を利用して調べる学習が日常的にできるようになっている。						
豊かな心と健やかな体の育成	ふるさと教育の推進	地域に学ぶ学習活動の充実	地域の自然や文化、歴史を地域の方に学ぶ学習活動の充実を図る。	児童が、「地域の「ひと、もの、こと」について周りの人に話したり日記に書いたりするようになっている。	地域の方の支援を受けて、稲作や綿づくり、陶芸やそば打ちなどを行ってきた。 跡市小学校最後の田植え囃子では、花田植えはもちろん、江津市小中音楽会や学習発表会に、保存会のみならず一緒に取り組む、伝統を守ることができた。また、運動会での鼓笛隊の復活など、卒業生と協力して無くなっていた活動をよみがえらせることもできた。 アンケートでも高い評価をいただいている。	A	○今年は特に田植え囃子の活動機会が多かったことや運動会での鼓笛隊復活等、他校ではなかなか見られない地域特性のある活動の濃い年だった。また、地域の方と触れ合うことで世代を問わない交流は児童にとっても地域にとっても良い効果があると感じた。 ○地域の伝承文化やものつくりを学ぶことが児童の精神的な支えになっているように思う。卒業生や先生方との合同の発表にいつも感動を覚える。 ○稲作、綿づくり、陶芸、ソバ打ちなど、地域の人たちと一緒に体験し、伝統文化では田植え囃子をするなど、素晴らしい活動を行っている。	A	○閉校後も地域の活動に子どもたちが参加できるように、津宮小学校と地域をつないでいかなければならない。また、跡市の子だけでなく、津宮小学校の児童にも参加の機会があるような取り組みをしていく必要がある。
		伝統文化教育の計画的実践	「伝統文化教育実践研究」の成果を踏まえた指導を継続し、計画的・組織的に発展させていく。(推進会(まちづくり・田植え囃子)との連携・協力)	指導計画に基づいて田植え囃子に取り組む、推進会との連携・協力が進んでいる。					
	生活習慣の確立と人間関係の育成	さわやかな挨拶(返事)、靴揃え、早寝早起き朝ごはんの指導の工夫	学校や家庭、地域において、児童がさわやかな挨拶(返事)や、履物揃え、片づけ、早寝早起き朝ごはんができるように、家庭等と連携した指導を工夫する。→小中連携の視点(生活習慣)	児童がさわやかに挨拶(返事)し、履物をそろえたり、早寝早起き朝ごはんができるようになってきている。	あいさつや返事についての評価は高いが、靴そろえや片づけ、早寝早起き朝ごはんについては、評価が低い。学校ではできていても、家庭や地域ではできていない面があると思われる。 全校学活の場を活用して、ピア・サポート活動に取り組んできた。自己肯定感の高まりや人間関係の高まりが見えてきた。	B	○あいさつが良い反面、早寝早起き朝ごはんや靴揃え、身の回りのこと等は少し弱い面を感じている。学校だけでなく家庭等のサポートにより十分解決できる課題だと思うので、引き続き改善に向かうようサポートしていきたい。 ○家庭での状況はわからないが、学校内では大きな問題を感じない。 ○挨拶、返事も大きな声で大変良い。コミュニティー交流センターでは靴そろえも片付けもよくできている。	A	○あいさつ、返事、靴そろえは継続し、早寝早起き朝ごはんは課題として各家庭で取り組んでいけるよう保護者と協力していきたい。
		ピア・サポートプログラムの実践深化と全校学活の工夫(人権教育・キャリア教育の推進)	発達段階に応じたピア・サポートプログラムの実践の深化と全校学活の工夫・改善に努める。(人権教育・キャリア教育)	全校でピア・サポート活動に取り組む、児童の人間関係づくりが進んでいる。					
	体力づくりの推進	業間運動や課外活動の充実	業間運動を継続するとともに、玉江大会(やみ二バス交歓会)に向けた課外活動を工夫し、計画的に実施する。	業間運動や課外活動に意欲的に取り組むようになっている。	行事と運動させ、縄跳びや器械運動などに計画的に取り組む、カードを活用しながら、毎業間に意欲的に活動することができている。 昨年よりも運動への意識も高まり、敏捷性なども向上したように感じているが、持久力などまだ十分ではないと感じている。	B	○保護者の間でも背が伸びた、走るのが速くなった等、著しい成長が見られるようだ。継続して大自然の中で伸び伸びと成長している環境作りは大切で、意欲的に取り組んでいる要因の一つではないか。 ○縄跳び、器械運動等の取り組みは積極的である点も良い。 ○勝負するのではなく、自分との闘いを学んだのでは。 ○いろんなスポーツに挑戦し、スキーやスケートは全員が滑れる。	B	○統合校で小体連動や体育でチーム競技を経験するなど、跡市ではできなかった運動・活動に取り組んで、さらに体力を向上させたい。
「しまねっ子！元気アッププログラム」の推進		「しまねっ子！元気アッププログラム」に継続的に取り組み、敏捷性や持久力等の向上に努める。	児童の敏捷性や持久力等が向上してきている。						
信頼される学校づくりの推進	開かれた学校づくりの推進	学校評価システムの活用(学校関係者評価の実施)	学校関係者評価を実施するとともに、評価項目などの改善や評価システムの周知を図る。	評価項目の改善ができ、また評価システムについて知っている人が増えてきている。	年度当初に評価項目について見直し、改善した。評価システムについての周知は十分とは言えなかったが、地域の方のアンケートへの回答は多かった。 情報発信については、学校便利だけでなく、学級通信やブログなどきめ細やかに行ったため、保護者からも地域の方々からも高い評価をいただいている。	A	○様々な情報ツールにより学校の活動内容等の情報発信がなされているが、跡市小学校の主に先生方による情報発信は周囲の評価も高いと感じている。特に閉校にあたる本年においては、学校通信やブログ等、キメ細かい発行・更新がなされていたと感じている。 ○学校の情報が地域に伝わった。児童の活躍に地域も力をもたせている。 ○若達よりやブログ等で学校の生活や学習活動がよくわか	A	
		積極的な情報発信(ホームページ、校報等)	ホームページ、校報「若迫」などにより、学校の教育活動のねらいや取り組みの様子などを積極的に情報発信する。	多くの人が、情報発信により学校の様子がよくわかると答えている。					
	危機管理体制の充実	安全点検の実施と修繕の推進	児童の安全を確保するために、月一度の安全点検を実施する。	児童が安全に学校生活を送っている。	子どもたちに大きな事故もなく、安全に登下校できている。交通安全教室も実施した。安全点検は、月ごとに実施しているが、老朽化による雨漏りなど、対応できない面も出てきている。 避難訓練は2学期末に実施予定の訓練が、天候不順のためできなかった。	B	○登校までの歩道がない道路もあり、通学等は頻りに車の行き来もあるため危ない状況もあるが、保護者等の帯同や定期的な立会いにより事故も起きていない。気候変動も激しく災害も頻りに起こる昨今において、定期的な訓練は今では特に大事だと感じた。 ○事故な学校生活が送られていることは評価できる。 ○安全点検や避難訓練など地域の皆さんと一緒に実施すべきだった。	B	○閉校後も児童はいるので、通学路(スクールバスの停留所付近)の安全点検や交通指導など地域の方と一緒に取り組みたい。 ○防災訓練等への児童の参加も検討していきたい。
		避難訓練等の充実	火災、地震を想定した避難訓練と登下校時等の不審者遭遇を想定した防犯教室を実施する。	避難訓練や防犯教室を計画的に実施している。					
地域との連携	地域コーディネーターとの連携による行事や学習活動、環境美化等の充実	地域コーディネーターとの連携を円滑に行い、行事や学習活動、環境美化の充実に努める。	地域コーディネーターとの連携が充実し、円滑な運営が図られていると感じている。	閉校に向け、地域と一丸となって取り組んでいるように思う。一つ一つの行事も、例年通りではなく、工夫され、そして盛大に行われているように感じる。 保護者や地域の方々からも地域とともに実施する行事が充実してきているとして高い評価をいただいている。	A	○閉校にあたる年であったこともあり、活動を共にさせて頂く中で、これほどまで地域との連携が強い校区はあるのかな、と思わせるくらい協力体制が構築されていると感じている。閉校になっても、引き続き地域コーディネーターとも連携しながら、様々な地域との活動が今の児童や地域の子ども達と共有出来る仕組み作りが出来れば良いと感じている。 ○小学校を中心に地域の活性化につながる動きがきている。 ○地域行事に積極的に参加してもらい、地域と学校、先生が連携してまちづくりに貢献していただいている。	A	○閉校後、地域が衰退していかないように、児童の姿があるまちづくりを進めていきたい。	
	保護者、自治会、まちづくり協議会等との連携による心に残る閉校行事の実施	閉校事業実行委員会や地域とともに、跡市小学校 143年の歴史の有終の美を飾るべく、一つ一つの行事の充実に努める。	閉校に向けて地域とともに実施する行事が充実していると多くの人が感じている。						

A:十分満足できる B:ほぼ満足できる C:検討を要する